

令和3年度

**箕面グリーンロード
料金割引社会実験結果**

令和4年6月

箕面有料道路（箕面グリーンロード）社会実験協議会

1. 社会実験の概要

(1) 現状と課題

- 箕面有料道路（箕面グリーンロード）は、箕面北部、豊能及び能勢と大阪市街地を結ぶ重要な道路で、同地域の活性化に不可欠なインフラのひとつ。
- 平成19年5月の供用開始以後、本路線のPRを実施し、交通量は増加傾向を示しているものの、事業計画収入には至っていない。
- 道路利用者からは、「箕面グリーンロードができたことで大変便利にはなったが、通行料金が高いため、利用しにくい。」という声が多い。
- このため、本路線のさらなる利用促進を図るための具体的な方策が必要として平成21年7月20日から料金割引社会実験を実施。

(2) 社会実験の目的

- 箕面グリーンロードの収支改善
- 箕面森町のまちづくり促進及び北大阪周辺の各市町等と連携した地域活性化
- 並行する一般国道423号や周辺道路から箕面グリーンロードへの交通転換

(3) 令和3年度料金割引社会実験の内容

- 実験期間：令和3年4月1日（木）～令和4年3月31日（木）（365日）
- 対象車種：普通車及び軽自動車等（現金及びETC利用者）
- 割引内容：普通車630円→420円（33%割引）、軽自動車等520→360円（30%割引）

(4) 社会実験の実施体制

- 「箕面有料道路（箕面グリーンロード）社会実験協議会」にて、社会実験を実施。

2. 社会実験の結果

(1) 交通量の変化

社会実験の割引対象車両（普通車、軽自動車等）の日平均交通量は9,409台/日であり、前年度から約14%の増加、実験開始以前から約2.7倍の増加。

期 間	車 種	平日	休日	全日
令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	普通車	6,756	8,070	7,184
	対実験開始前週比	2.809	2.158	2.578
	対R2年度比	1.159	1.122	1.145
	軽自動車等	2,262	2,150	2,225
	対実験開始前週比	3.209	2.651	3.027
	対R2年度比	1.122	1.099	1.114
	普通車+軽自動車等	9,017	10,219	9,409
	対実験開始前週比	2.899	2.246	2.671
	対R2年度比	1.149	1.117	1.138
	全車種	10,073	10,719	10,284
	対実験開始前週比	2.844	2.224	2.632
	対R2年度比	1.158	1.120	1.145

※料金割引の対象車種は、普通車及び軽自動車等（ETC及び現金通行車）

※全車種は、普通車、軽自動車等、中型車、大型車および特大車等

※「対実験開始前週比」とは、平成21年7月13日～同月19日の日平均交通量との比較

※「対R2年度比」とは、令和2年4月1日～令和3年3月31日の日平均交通量との比較

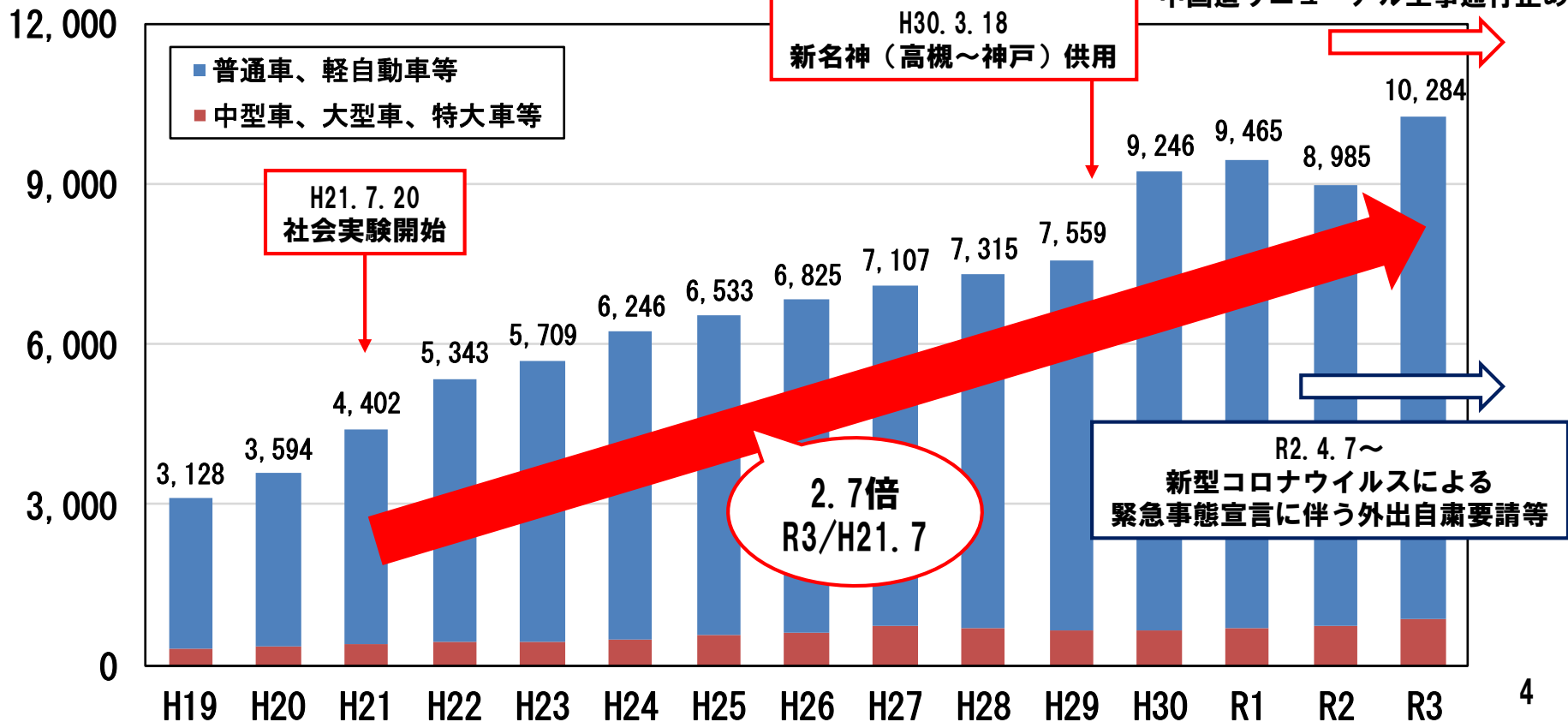
2. 社会実験の結果

(2) 年度別交通量の推移

令和3年度の日平均交通量（全車種）は10,284台/日であり、コロナ禍の影響を除けば、社会実験開始以降、増加傾向。

■年度別交通量の推移

(日平均交通量：台/日)



2. 社会実験の結果

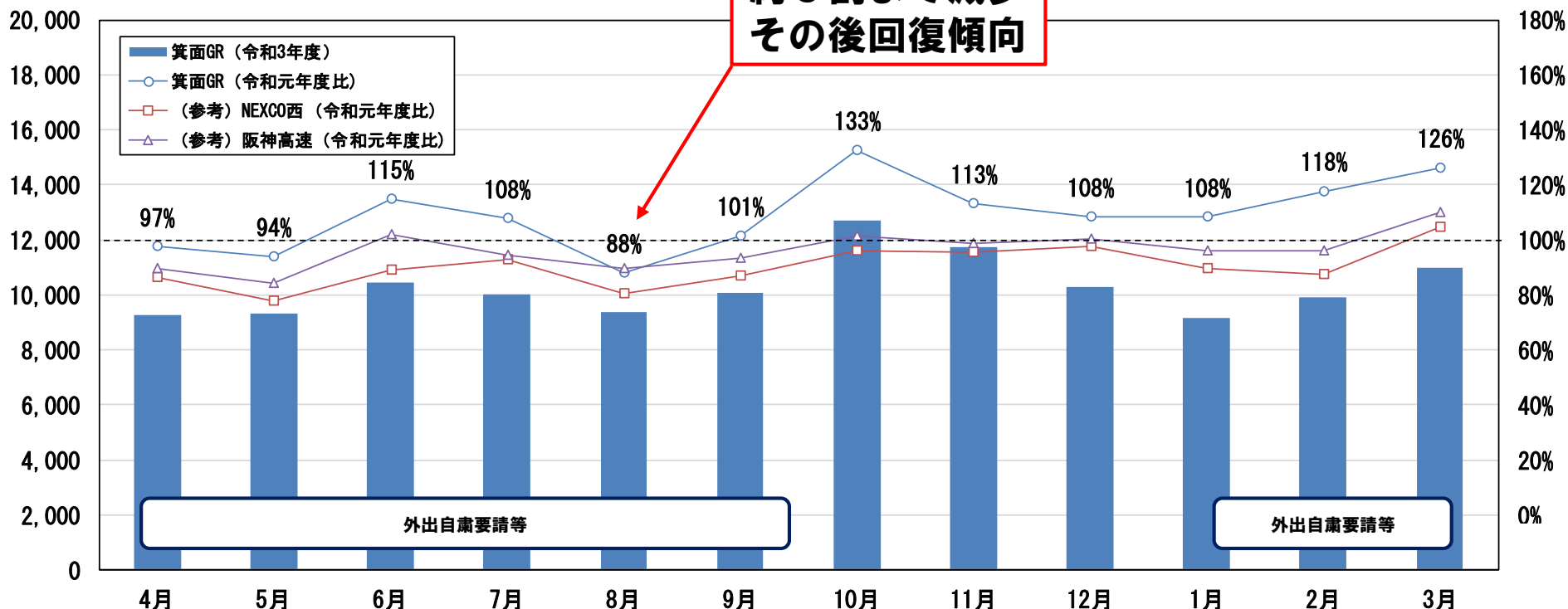
(3) 新型コロナウイルス感染症による影響

上半期は、新型コロナウイルスによる外出自粛要請の影響を強く受け、8月にはコロナ禍前である令和元年度の約9割まで減少したが、下半期は令和元年度並みに回復している。また、ほかの高速道路においても同様の傾向がみられる。

【出展】 高速道路会社の交通量：独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構

■ 月別交通量の推移

(日平均交通量：台/日)



■ 新型コロナウイルス感染症による主な交通量の減少要因

4/5～9/30：外出自粛要請【うち4/25～6/20、8/2～9/30は緊急事態宣言、ほかはまん延防止等重点措置】

1/27～3/21：外出自粛要請（混雑した場所など）、府県間移動自粛【まん延防止等重点措置】

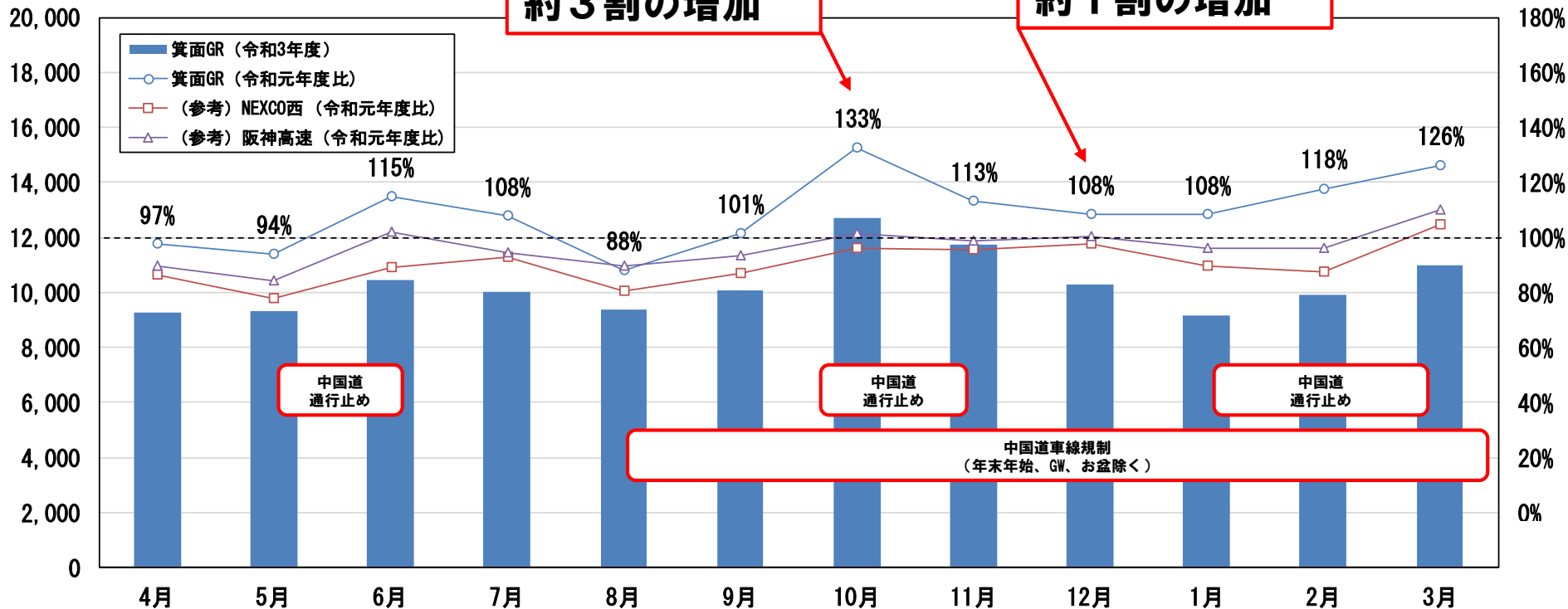
2. 社会実験の結果 (4) 中国自動車道リニューアル工事による影響

中国自動車道の通行止めに伴う交通転換により、10月には約3割の増加となった。また、通行止め期間外の12月においても、約1割の増加がみられることから、料金割引社会実験による効果として交通量の増加が生じていると考えられる。

【出展】 高速道路会社の交通量：独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構

月別交通量の推移

(日平均交通量：台/日)



中国自動車道リニューアル工事による主な交通量の増加要因

5/19～6/27、10/1～11/9、1/18～3/12：吹田JCT～中国池田IC間の終日通行止め【中国道リニューアル工事】6

8/23～R6上半期(年末年始、GW、お盆を除く)：中国池田IC～宝塚IC間の終日車線規制

2. 社会実験の結果

(5) 車種別交通量の推移

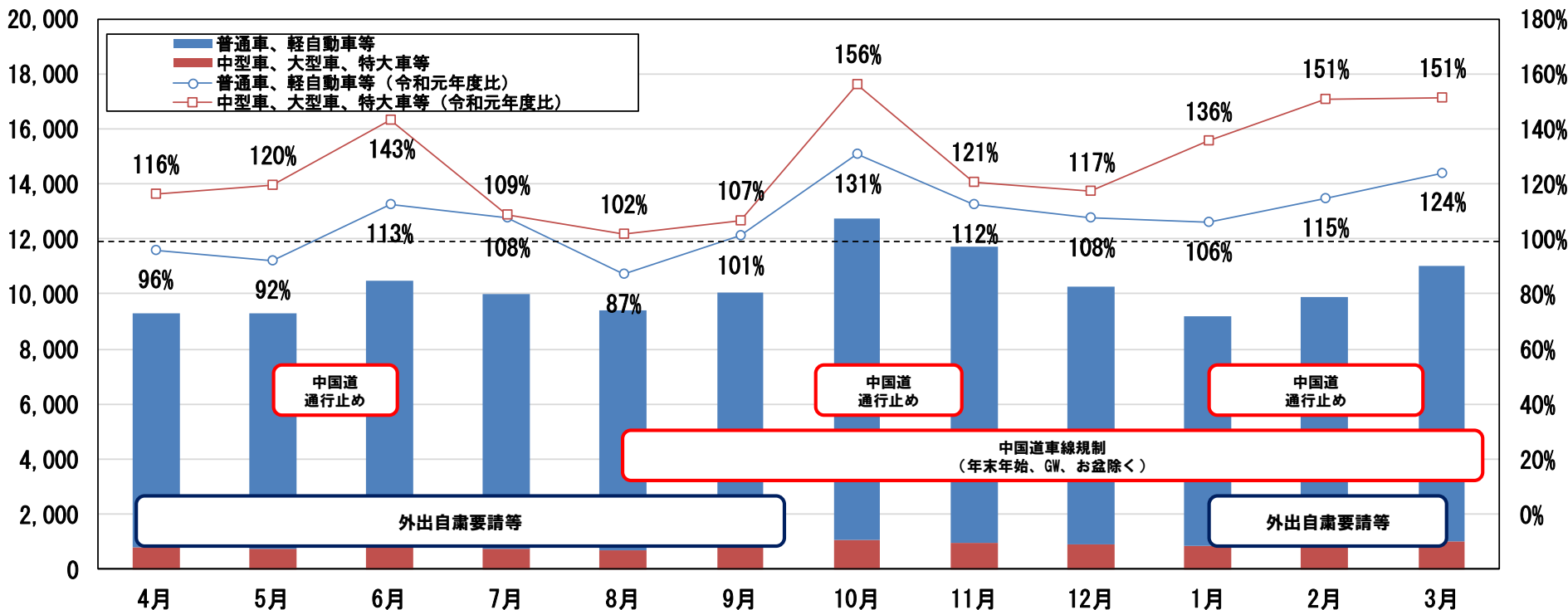
車種別で比較すると、新型コロナウイルスの影響による減少は、普通車等の方が大きく、観光利用の低下により減少していると考えられる。

中国道リニューアル工事の影響による増加は、大型車等の方が大きく、業務利用における迂回利用により増加していると考えられる。

■ 月別交通量の推移（車種別）

（日平均交通量：台/日）

（令和元年度比）



2. 社会実験の結果

(5) 平日・休日交通量の推移

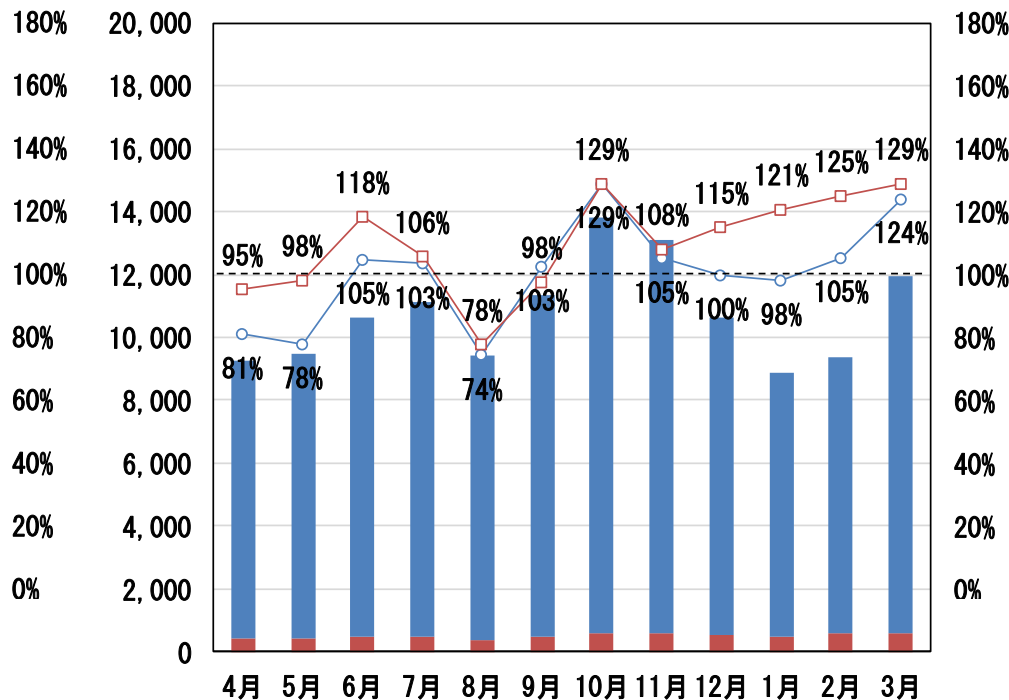
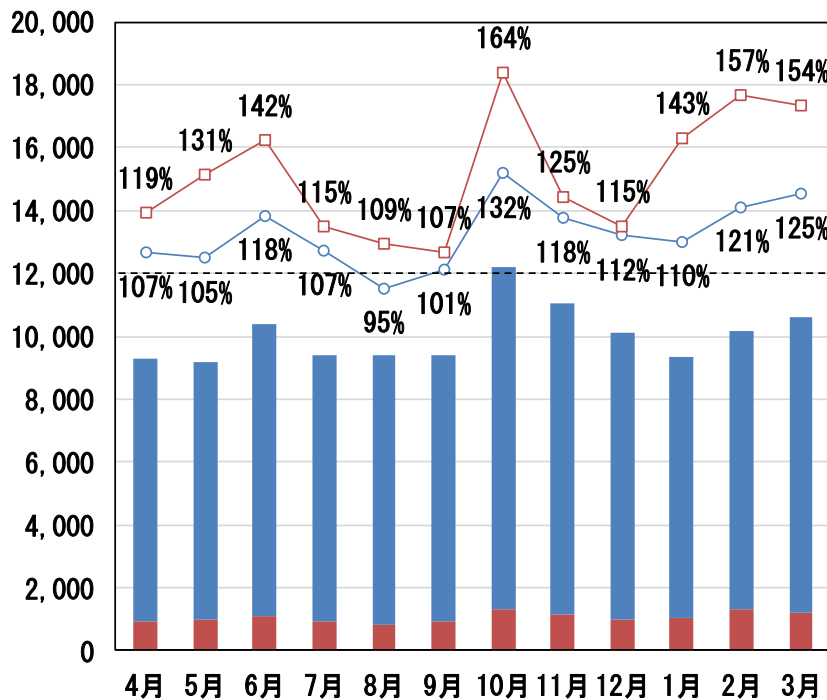
平日、休日で比較すると、新型コロナウイルスの影響による減少は、休日の方が大きく、特に休日の観光利用の低下していると考えられる。
 中国道リニューアル工事の影響による増加は、平日の方が大きく、特に平日の業務利用における迂回利用が増加していると考えられる。

■ 月別交通量の推移（平日・休日）

（日平均交通量：台/日）

（令和元年度比）（日平均交通量：台/日）

（令和元年度比）



平日

休日

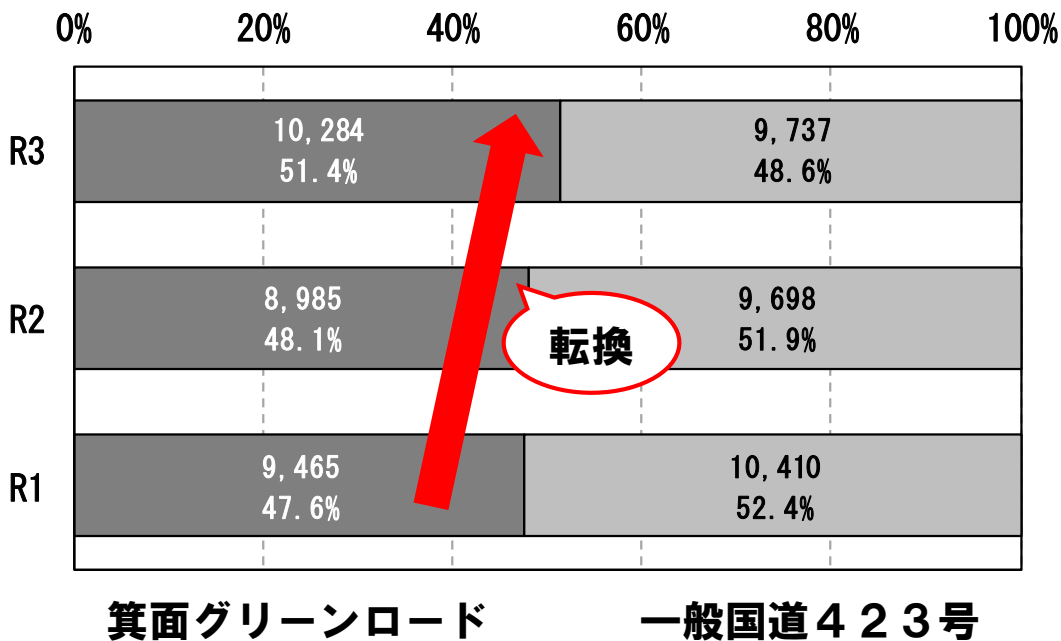
- 普通車、軽自動車等
- 中型車、大型車、特大車等
- 普通車、軽自動車等 (令和元年度比)
- 中型車、大型車、特大車等 (令和元年度比)

3. 社会実験の効果

(1) 周辺道路からの交通転換

箕面グリーンロードと、その並行する国道423号については、それぞれ新型コロナウイルスの影響で令和2年度に減少し、その後回復傾向にある中で、箕面グリーンロードの交通量の割合が増加傾向にあり、周辺道路から箕面グリーンロードへの交通転換が促進されていると考えられる。

■箕面グリーンロードと並行する423号の交通量割合の推移



調査位置

【出展】一般国道423号の交通量：旧細川小学校南交差点付近 車両感知器

3. 社会実験の効果

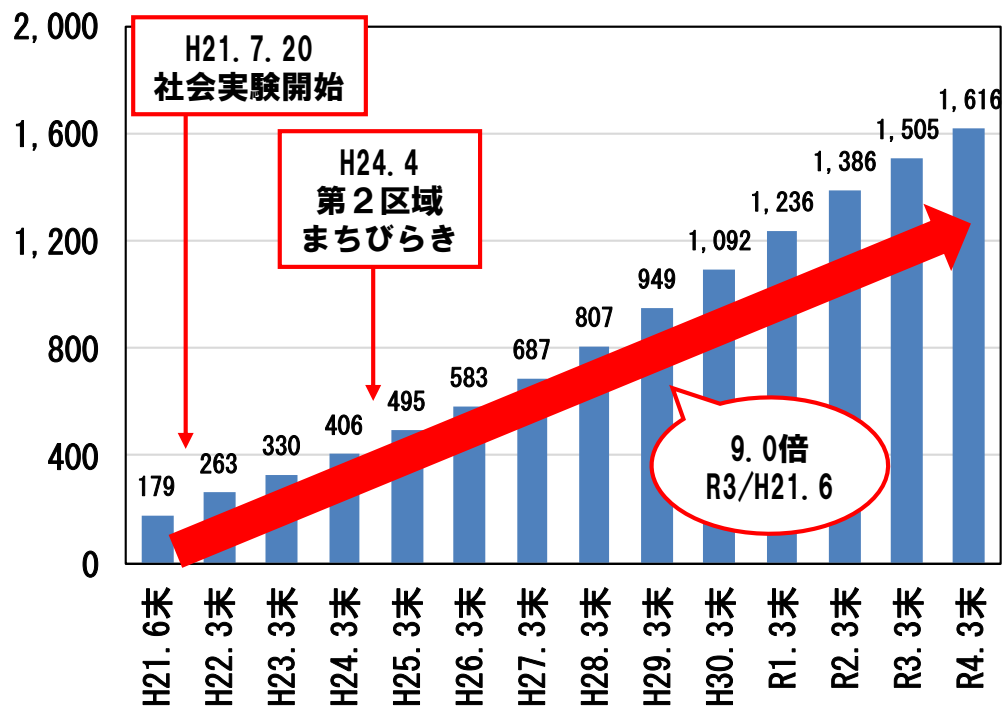
(2) 地域活性化等の効果

箕面森町においては、世帯数が増加するとともに施設整備等が促進されるなど地域活性が図られている。

箕面森町の世帯数は令和3年度において111世帯増加しており、社会実験開始以降、継続的に増加している。

■箕面森町の世帯数の推移

(世帯数)



■箕面森町第3区域の主な開発状況

- R1. 10 【物流】サカタウエアハウス(株) 北大阪営業所・箕面倉庫 竣工
- R3. 4 【工場】アソー(株)箕面クリーン工場 竣工
- R3. 7 【物流】ロジプラザ箕面森町 竣工
- R3. 8 【工場】大成化工(株)箕面工場 竣工
- R3. 10 【物流】京神倉庫(株)箕面支店倉庫 竣工
- R4. 1 【物流】サカタウエアハウス(株) 北大阪営業所・箕面倉庫(第二期) 竣工
- R4. 3 【物流】箕面ロジスティクスセンター 竣工
- R4. 4 【工場】チコーエアーテック(株)箕面森町工場 竣工
- R5. 2 【物流】(仮称)アイミッションズパーク箕面 竣工(予定)

【出展】箕面森町の世帯数：箕面市町丁目別世帯人口数
(森町北1丁目～2丁目、森町中1丁目～3丁目、森町南1丁目～3丁目)

4. アンケート調査結果

(1) アンケート実施概要

令和3年11月～12月に箕面グリーンロード利用者及び沿線住民を対象にアンケート調査を実施した。

■道路利用者アンケート

○調査対象：箕面グリーンロード利用者

○調査方法：①料金所にて現金・回数券利用者に調査票を配布、郵送で回収及びWebで回答
②大阪府HPにてWebアンケートを実施

○回収状況

	R3	R2 (参考)	R1 (参考)
①配布数	1,200	1,326	1,538
①回収数	164 (13.7%)	187 (14.1%)	179 (11.6%)
②HPからのWeb回答数	35	-	-
合計回答数	199	187	179

■沿線住民アンケート

○調査対象：箕面市、池田市、豊能町、能勢町の一部の住民2,265名

○調査方法：自治会等を通じ配布、郵送等で回収及びWebで回答

○回収状況

	R3	R2 (参考)	R1 (参考)
配布数	2,265	1,975	2,188
回収数	1,249 (55.1%)	1,029 (52.1%)	1,020 (46.6%)

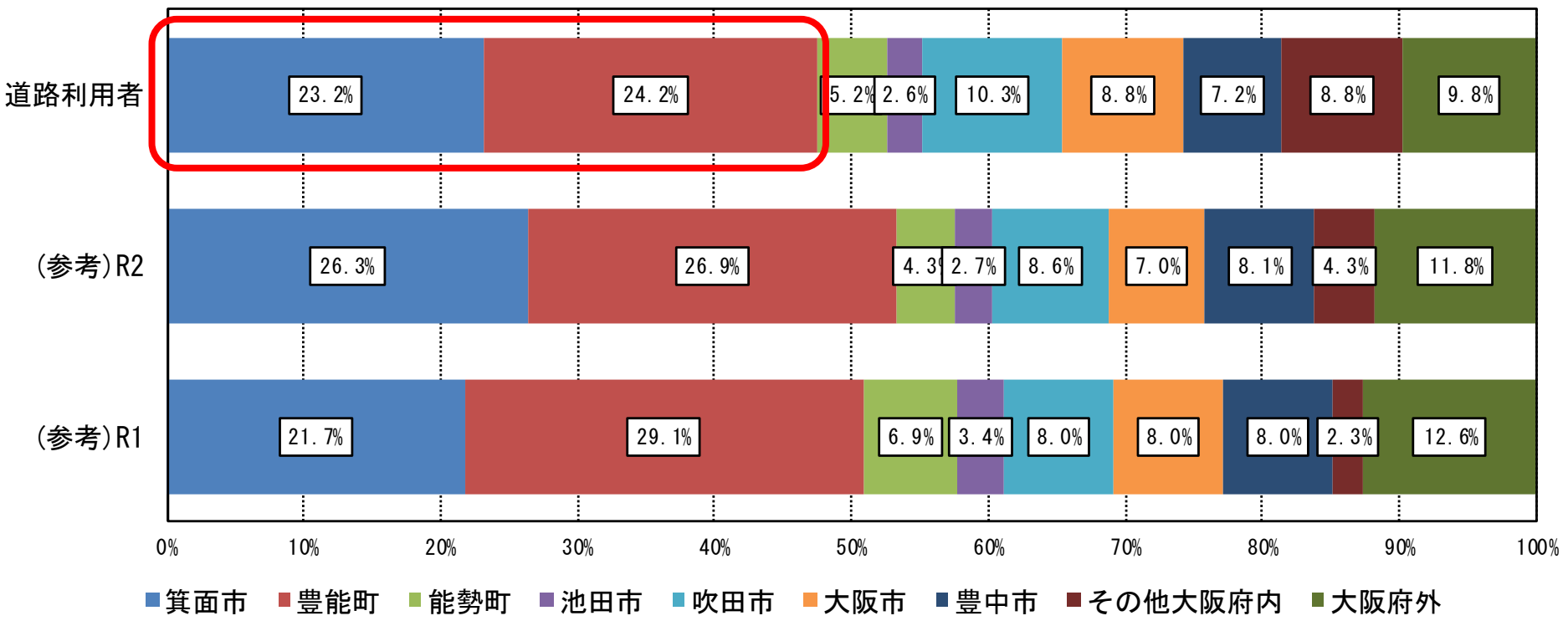
4. アンケート調査結果

(2) 居住地

道路利用者のうち、約5割の方が箕面市、豊能町在住、約3割の方が吹田市、大阪市、豊中市在住で、地域の方の利用が中心。
府外では、川西市、猪名川町、亀岡市の方が見受けられる。

■居住地：道路利用者（有効回答数 194）

約5割の方が箕面市、豊能町在住



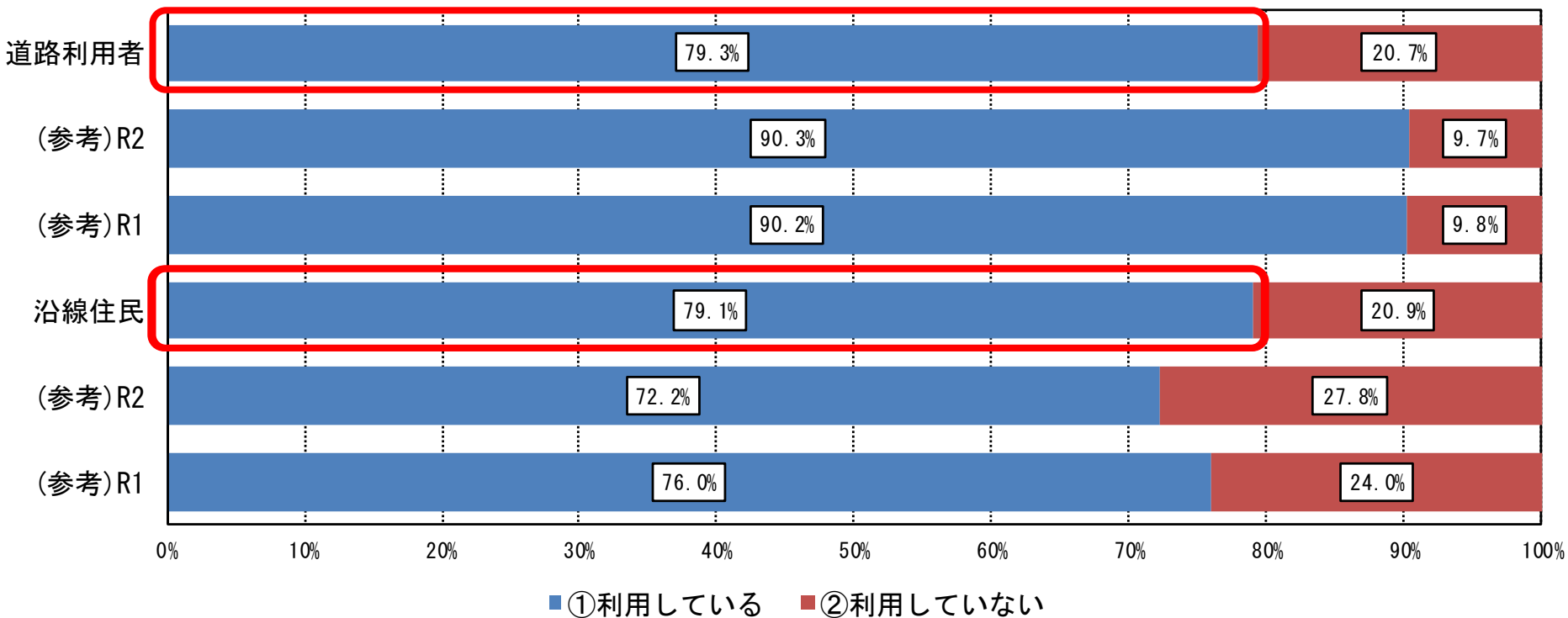
4. アンケート調査結果

(3) 利用頻度①

道路利用者、沿線住民ともに約8割の方が箕面グリーンロードを「普段から利用している」と回答。

■ 普段の利用：道路利用者（有効回答数 198）
沿線住民（有効回答数 1,249）

約8割の方が普段から利用



4. アンケート調査結果

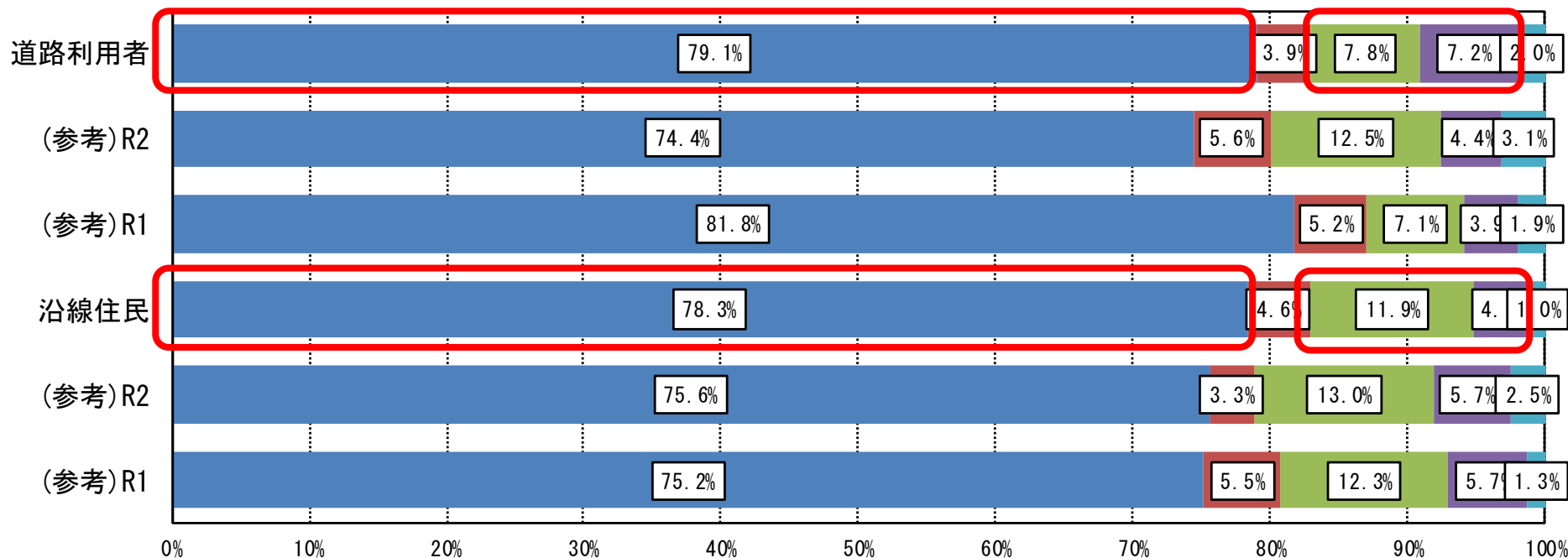
(3) 利用頻度②

普段から利用している方のうち、約8割の方が往復で利用している。また、片道利用の中でも箕面グリーンロードの北側を起点とする片道利用が比較的多い。

■往復の利用：道路利用者（有効回答数 153）
沿線住民（有効回答数 972）

約8割の方が往復利用

往路：北→南
復路：南→北
が比較的多い



■①往復 ■②片道（往路：南→北） ■③片道（往路：北→南） ■④片道（復路：南→北） ■⑤片道（復路：北→南）

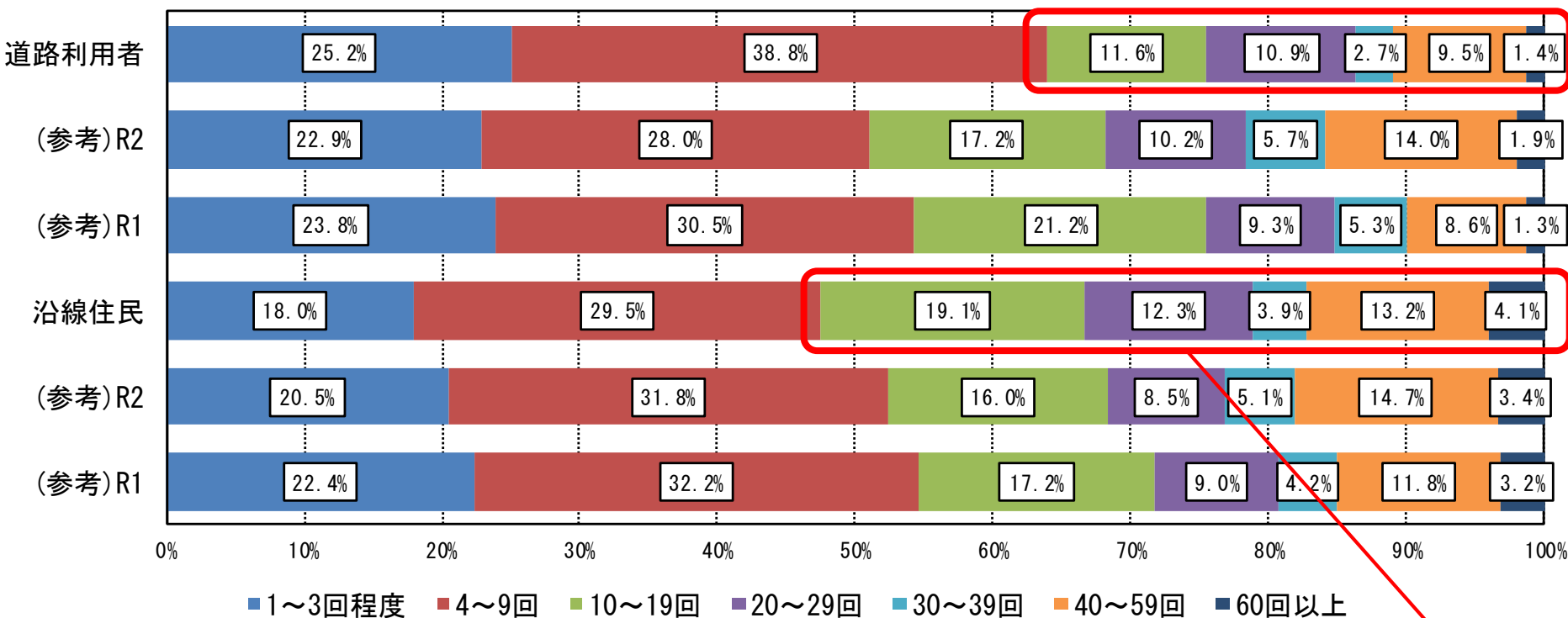
4. アンケート調査結果

(3) 利用頻度③

また、道路利用者の約4割、沿線住民の約5割の方が「月に10回以上」
 (往復利用とすると週1回以上)と回答。
 以上から、地域の方を中心とした定期的な利用が見受けられる。

■ 1か月当たりの利用頻度：道路利用者 (有効回答数 147)
 沿線住民 (有効回答数 955)

約4割が月に10回以上利用



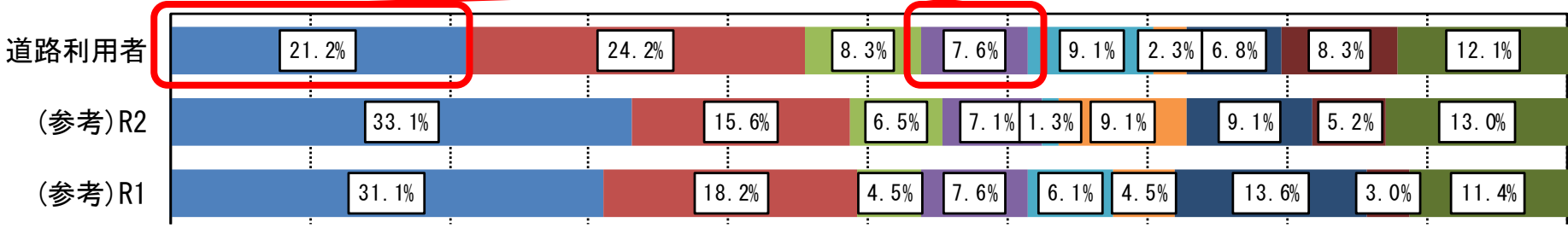
約5割が月に10回以上利用

4. アンケート調査結果

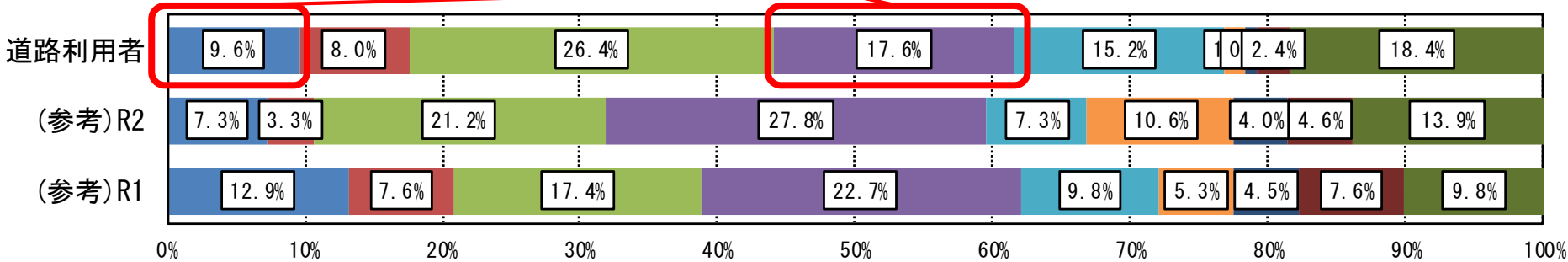
(4) 利用目的①

普段から利用されている道路利用者の主な利用目的は、「観光・レジャー」が平日では約1割、休日では約3割に対して、「通勤・通学」「買い物」が平日・休日ともに約3割を占める。
観光利用のほかに、生活道路としての利用が見受けられる。

■平日の利用目的：道路利用者（有効回答数 132） **約3割が通勤・通学、買い物**



■休日の利用目的：道路利用者（有効回答数 125） **約3割が通勤・通学、買い物**



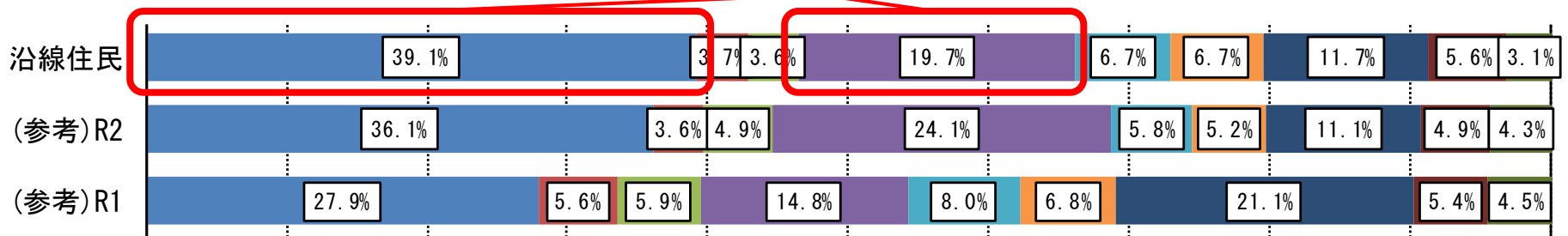
- ①通勤・通学
- ②業務 (営業、配送等)
- ③観光・レジャー
- ④買い物
- ⑤食事・社交・娯楽
- ⑥送迎
- ⑦通院・介護
- ⑧利用しない
- ⑨その他

4. アンケート調査結果

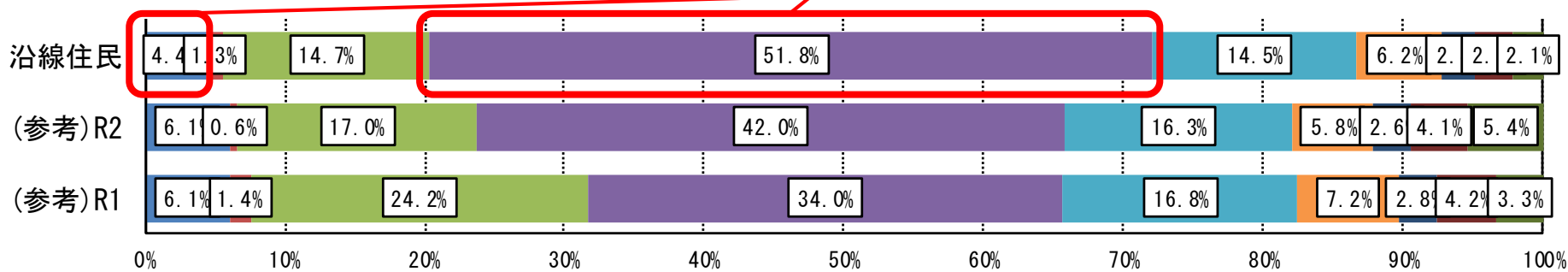
(4) 利用目的②

普段から利用されている沿線住民の主な利用目的は、平日・休日ともに「通勤・通学」「買い物」が約6割を占めており、地域の方は主に生活道路として利用されている。

■平日の利用目的：沿線住民（有効回答数 836） **約6割が通勤・通学、買い物**



■休日の利用目的：沿線住民（有効回答数 850） **約6割が通勤・通学、買い物**



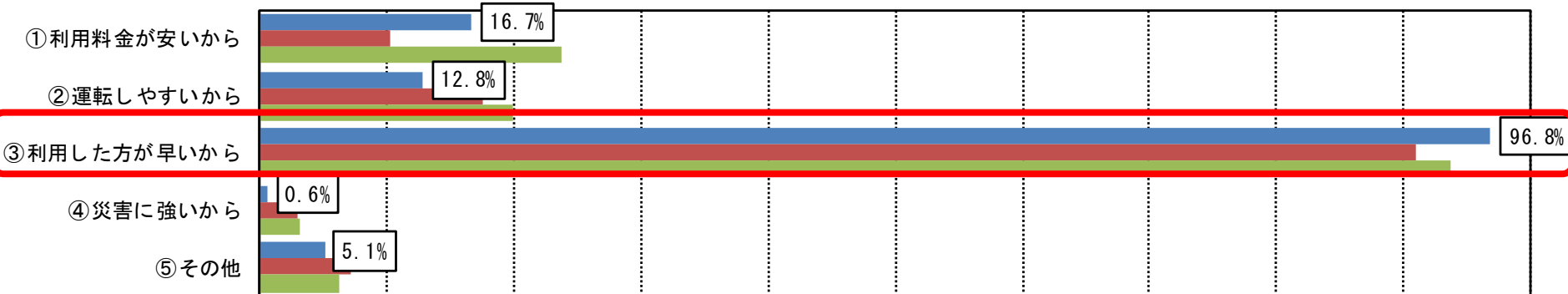
- ①通勤・通学
- ②業務 (営業、配送等)
- ③観光・レジャー
- ④買い物
- ⑤食事・社交・娯楽
- ⑥送迎
- ⑦通院・介護
- ⑧利用しない
- ⑨その他

4. アンケート調査結果

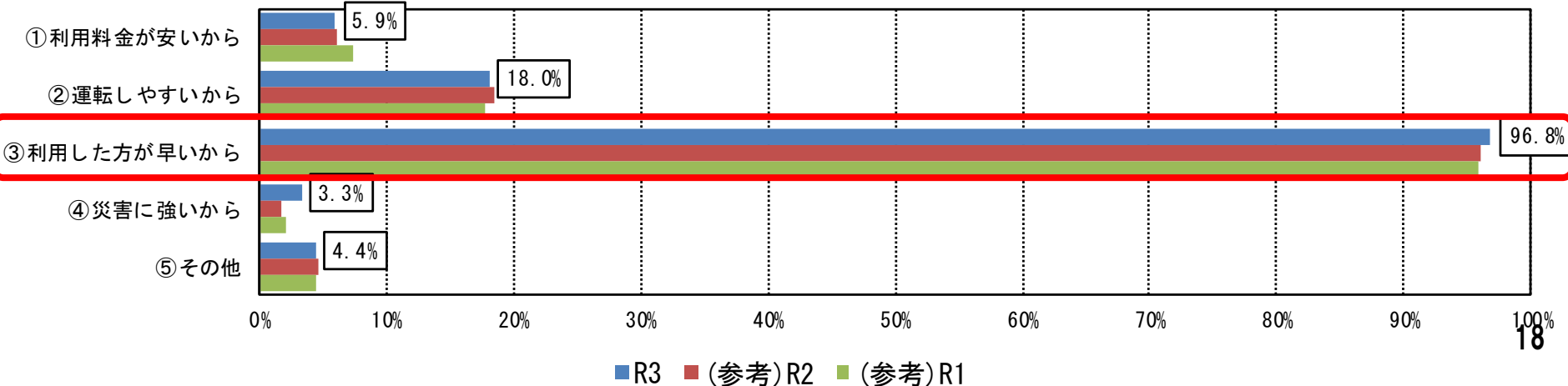
(5) 利用する理由

普段から利用されている理由として、道路利用者、沿線住民ともに95%以上の方が「利用した方が早いから」と回答。
ほとんどの利用者の方が、早く移動できることに利便性を感じている。

■ 普段利用する理由：道路利用者（有効回答数 156）



■ 普段利用する理由：沿線住民（有効回答数 982）

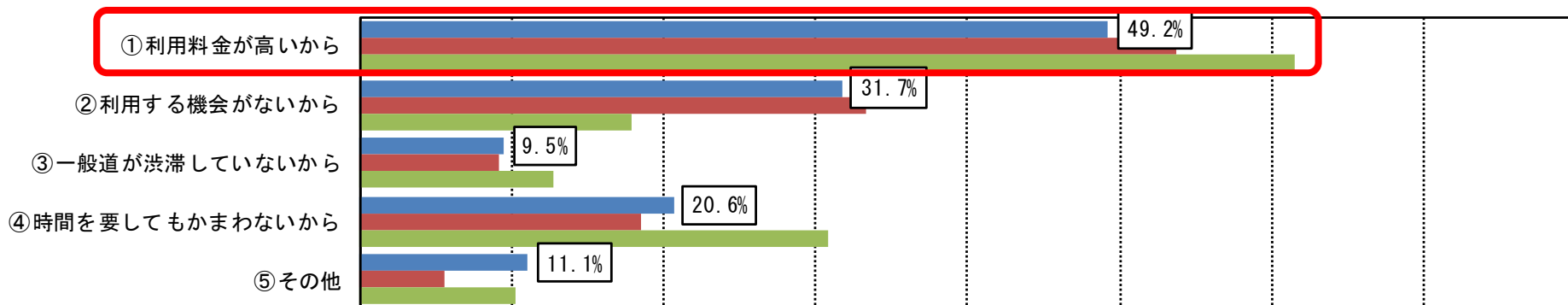


4. アンケート調査結果

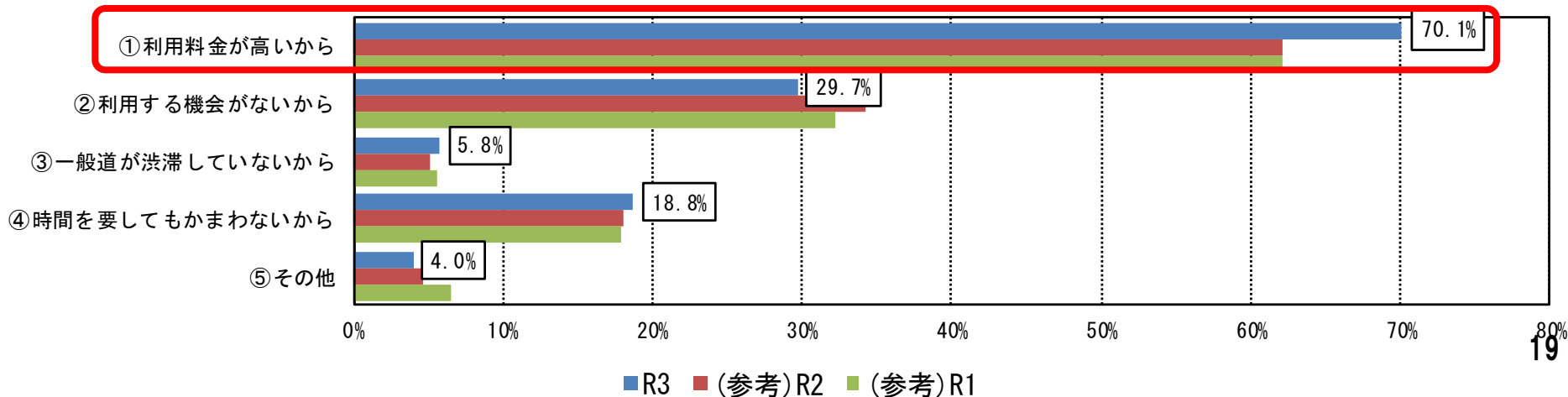
(6) 利用しない理由

普段から利用しないまたは片道利用の方のうち、道路利用者の約5割、沿線住民の約7割の方が「料金が高いから」と回答。
地域の方を中心に、料金の高さから利用を控えている状況。

■ 普段利用しないまたは片道利用の理由：道路利用者（有効回答数 63）



■ 普段利用しないまたは片道利用の理由：沿線住民（有効回答数 448）

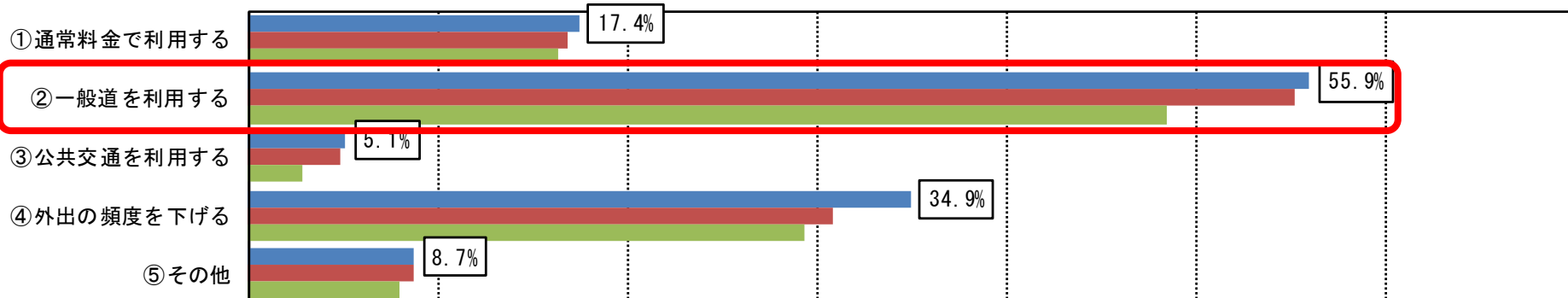


4. アンケート調査結果

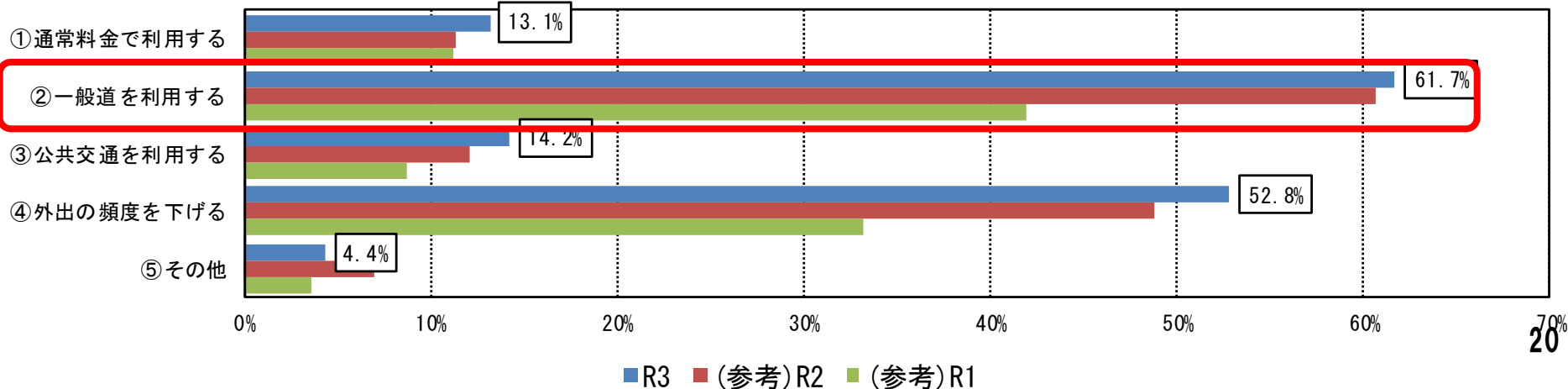
(7) 料金割引社会実験について

社会実験を終了し、通常料金となった場合において、道路利用者、沿線住民ともに半数以上が「一般道を利用する」「外出の頻度を下げる」等、箕面グリーンロードの利用頻度を下げるような回答をしており、料金割引の効果は大きいと思われる。

■料金割引社会実験が終了した場合：道路利用者（有効回答数 195）



■料金割引社会実験が終了した場合：沿線住民（有効回答数 1,240）

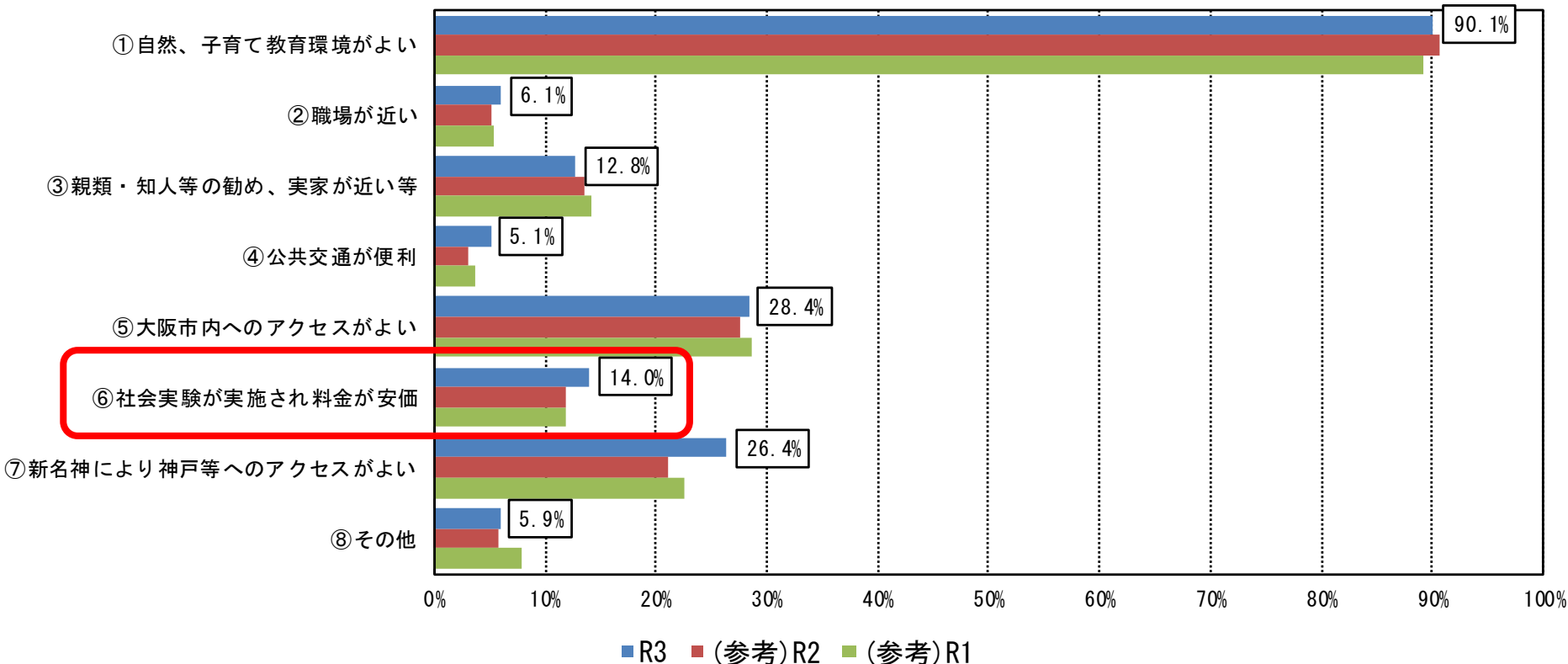


4. アンケート調査結果

(8) 箕面森町居住理由

箕面森町に住むことを決めた理由について、約1割が「社会実験実施により料金が安価」と回答しており、社会実験の実施により、箕面森町の世帯数増に寄与していると考えられる。

■箕面森町居住理由：道路利用者、沿線住民（有効回答数 807）



- 箕面グリーンロードについて、多くの方が「早く移動できる」ことに利便性を感じており、平日は「業務（営業、配送等）」、休日は「観光・レジャー」を目的で主に利用されている。
- 沿線地域の方については、「通勤・通学」「買い物」といった生活道路として主に利用されている。
- 全体の約8割の方が箕面グリーンロードを普段から利用されており、そのうち約8割の方は往復で利用されている。
- 普段から利用していないまたは片道のみ利用されている方のおよそ半数が「利用料金が高い」ことを理由に利用を控えている状況。
- また、社会実験を終了した場合、半数以上が「一般道を利用する」「外出の頻度を下げる」等、箕面グリーンロードの利用頻度を下げるような回答をしており、料金割引の効果は大きいと思われる。

5. 箕面グリーンロードの利用促進

コロナ禍の状況で観光利用の促進が困難な状況ではあったが、利便性をPRする取り組みとして、中国自動車道リニューアル工事に合わせ、兵庫県域を中心に各サービスエリアや道の駅にPRチラシの配架を実施した。

■PRチラシの配架

○高速道路のサービスエリア

- ・名神高速道路（吹田SA、大津SA）
- ・新名神高速道路（宝塚北SA）
- ・中国自動車道（西宮名塩SA、加西SA）
- ・山陽自動車道（三木SA、龍野西SA）
- ・舞鶴若狭自動車道（西紀SA）

○道の駅

- ・新名神、中国道、山陽道沿線の兵庫県域の各道の駅

○兵庫県・市役所

- ・新名神、中国道、山陽道沿線の兵庫県各土木事務所、市役所・町役場



(参考) 令和3年度の中国自動車道リニューアル工事

- ・吹田JCT～中国池田IC終日通行止め：5/19～6/27、10/1～11/9、1/18～3/12
- ・中国池田IC～宝塚IC終日車線規制：8/23～R6上半期（GW、お盆、年末年始を除く）

6. 令和3年度社会実験の総括

(1) 交通量

- 普通車、軽自動車等の交通量は前年度から約14%増加しており、コロナ禍の影響を除けば、社会実験開始以降、継続的に増加している。

(2) 周辺道路からの交通転換

- 箕面グリーンロードの周辺道路との交通分担率は前年度から約3%増加しており、周辺道路から箕面グリーンロードへの交通転換が促進されていると考えられる。

(3) 地域活性化等の効果

- 箕面森町における世帯数は前年度から111世帯増加しており、さらに物流施設等の開発が進むなど、地域活性が図られていると考えられる。

(4) アンケート調査結果

- 料金割引終了に対して半数以上が「一般道を利用する」と回答しており、割引による利用効果は大きい。



料金割引社会実験は、利用促進や地域活性化等に寄与しているが、料金収入は計画収入まで至っていない状況である。

引き続き、料金割引社会実験を実施し、交通量や利用者の意見、影響などを把握し、その効果を検証するとともに、観光情報発信、利便性PRなどの利用促進に取り組む。